看看連携会 ニュースレター

2026年 9月開催



看看連携会とは病院の看護師と地域の訪問看護師の連携会です。

日時：2026年9月17日(木)
会場：災害管理センター4階　マルチホールB
参加者：40名　参加施設：15施設

「心不全患者のACP」をテーマに連携会を開催しました。

参加者の意見・浮き彫りになった課題

患者の主観的情報（S情報）をいかに共有し、変化する患者の意思に柔軟に対応していくかが共通の課題としてあげられた。

- **情報共有の機会と内容の不足**：患者の気持ちや価値観、病状理解の程度などの「S情報」は、現行のサマリーのみでは伝わりにくい。
- **ACPの実施時期と継続の課題**：病院でのACP実施のタイミングや、その後の患者の気持ちの変化が在宅支援者に伝わりにくい。
- **フィードバック体制の未整備**：在宅療養中に、患者の気持ちが変化した場合、訪問看護から病院へのフィードバック方法や相談窓口が明確でない。
- **記録の課題**：現行のサマリーには、ACPに関する対話の経緯や揺れ動く気持ちなどを記載する項目が不足している。





講演者のコメント

生活を支え、患者のそばで寄り添う立場である看護師の役割は大きいことを参加者で共有できました。
病院と地域の看護師が連携し、切れ目ない心不全ケアでその人が望む生活の実現をめざしましょう。



今日からできること

患者の思い「S情報」を伝え合おう！

- ACPに関する患者の言葉や反応、気持ちの変化を看護サマリーをはじめとした各機関の情報ツールに具体的に記載し、病院と在宅で共有する。



次回は12月15日(火)　テーマは「災害」です。
今後も病院と地域を繋げるために活動を続けていきます！多くの医療関係者の皆様のご参加をお待ちしております！

発行：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院患者支援センター